



# Beside you 通信 第51号

## ●お知らせ - 新体制が発足しました -



男女共同参画推進室の立ち上げから室長、担当理事として携われた細井理事がご退任され、本年度より、学生支援センター長である後藤副学長が室長にご就任されます。

学生支援との連携が強化されると共に、担当の藪田理事との2人体制でパワーアップした推進室をどうぞご期待ください！

### この号の内容

- ◆お知らせ  
新体制が発足しました
- ◆活動報告  
学生スタッフが生理用品の配置について提案しました
- ◆室員紹介  
藪田 千登世 理事  
地域連携担当、ダイバーシティ推進担当
- ◆お役立ち情報  
出産・育児、介護に関するリーフレット

## ●活動報告 - 学生スタッフが生理用品の配置について提案しました -

学生スタッフが3回にわたる実験の結果をもとに、生理用品の配置について大学へ提案を行いました。

### 【実験の概要】

生理用品を、第1回では個室トイレへ、第2回及び第3回では洗面所へと、配置場所を変更することで、持ち帰りの問題や利用のしづらさを検証しました。

回	期間	配置場所
第1回	10月25日～11月30日	地域学部棟、工学部棟、農学部棟、共通教育棟の個室トイレ各4カ所（計16カ所）に配置。
第2回	12月6日～1月6日	地域学部棟、工学部棟、農学部棟、共通教育棟に加え、図書館、学生会館の洗面所計16カ所に配置。
第3回	1月10日～2月10日	第2回と同じ

### <第1回>

O i T rの代替手段として可能かどうか、個室トイレへ配置してみました。利便性や羞恥心の観点から、配置は個室トイレでなければならないと考えましたが、

- ・相応の数量が必要となる事
- ・配置した個室が使用中の場合は、同時に居合わせた緊急に必要な方が利用できない事等が、想定していた以上に問題点として浮き彫りになりました。

### <第2回及び第3回>

配置場所を個室トイレから洗面所に変更し、

- ・他者と居合わせた際に生理用品を取り出す気恥ずかしさ
- ・緊急的な場合の不便さ

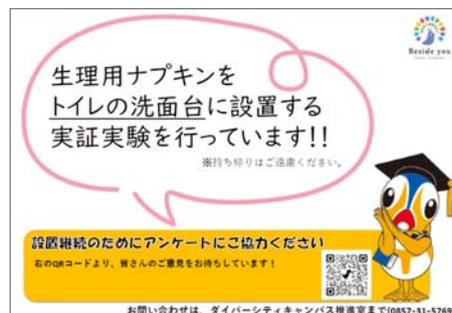
等について検証した結果、限られた数の「個室トイレへの配置」ではなく、なるべく多くのトイレに配置可能な「洗面所への配置」を希望する割合が73%と多数を占めました。

### 【提案の概要】

以上の結果を踏まえ、設置について下記のような問題点のあるO i T rより、「各棟各フロアに少なくとも1カ所のトイレの洗面所に生理用品を設置すること」の方が効果的との結論に達しました。

- O i T rの問題点：納入時期が未定でいつ設置できるかわからない
- 需要増と半導体不足等により、納入数量が12台と非常に少ない
  - 窓の位置やコンセントの関係上設置場所が限られる
  - 必ずトイレにスマホを持ち込んでの操作が必要

☆キャンパスの環境改善のため、3年間頑張ってくれた学生スタッフの皆さん、ありがとうございました！



## ★室員紹介

## 藪田 千登世 理事

地域連携担当、ダイバーシティ推進担当



時にはカフェでゆっくりと

みなさんこんにちは。細井理事から引き継ぎ、後藤室長と共に4月からダイバーシティ推進を担当させていただきます。実はこの分野に携わるのは初めてではなく、前職の鳥取県庁時代、採用時の配属先が男女共同参画の所管部署でした。まだ当時は年齢が二回り上の上司が係長に昇任して女性初と騒がれていた時代でしたが、今や女性登用のトップランナー、課長級の4人に1人を女性が占めるなど隔世の感があります。

私自身、在職30数年の間には、市町村行政、福祉、文化、土木、雇用、教育など、農林を除くほとんどの分野に平均2～3年のスパンで従事し、最後の3年間は福祉及び会計に係る部長職を務めました。同年代の女性が少なかったことから、会議ではいつも女性は私だけ、発言には良くも悪くも注目され、庁外に出向くと部下の方を上席に案内されるなどということは日常茶飯事でした。

そんな状況を支えたのは、ただただ後続く女性たちに「(特別な誰かではなく)誰でも昇任できて、誰でも普通に仕事がこなせる」ことを示したい、自分にもできると勇気を持ってもらいたい、その一念でした。

誰もが仕事の悩みの他に、私生活でも色々沢山抱えながら生きています。私の場合は在宅での母の看護と父の介護が同時進行でしたので、ほんの束の間でも自分を見失わないための時間が必要でした。今でも続けている私のお気に入り、5代目となる愛犬ルネを伴いゆっくり寛ぐカフェタイム。みなさんも、ワークとライフのシナジー効果をもたらす自分癒しの時間を是非！

やんちゃ娘の  
ドライブ・マイ・カー



## ★お役立ち情報

### -出産・育児、介護に関するリーフレット-



2022年10月からスタートした「出生時育児休業(産後パパ育休)」を契機に、ダイバーシティキャンパス推進室では、リーフレット【出産・育児との「両立を支援」する各種制度について】を作成しました。

- 妊娠、出産時、出産後、育児期には、それぞれどのような制度を利用できるのか
- 出産・育児に係る休暇や職務専念義務免除について
- 出産・育児に係る勤務制限などについて
- 常勤職員、有期契約職員、男性、女性による利用可否、給与の有無についてまとめた他、よく問い合わせのある内容や介護に係る休暇や勤務制限についても記載しています。

ご希望の方は、ダイバーシティキャンパス推進室へお越しいただくか、ご連絡いただければ学内便にて送付いたします。

ご要望・ご相談などは、下記までお寄せください

〒680-8550

鳥取市湖山町南4丁目101

ダイバーシティキャンパス推進室(地域学部棟4階)

TEL: 0857-31-5769 または 内線2166

FAX: 0857-31-5797

Email: diversity@ml.adm.tottori-u.ac.jp

H P: <https://www.tottori-u.ac.jp/diversity/>

担当理事・副学長: 藪田 千登世

室長: 後藤 知伸 副学長

専任コーディネーター: 長谷 順子 (キャリアコンサルタント)



Tottori University Office for Campus Diversity

鳥取大学 ダイバーシティキャンパス推進室

Beside you